

夕刊 一月一日



定価 一部金五銭 金五銭 郵費五銭
 廣告料 五銭 十二字 一行 金五銭
 日曜日の日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

眞實と虚偽 【二】

中村 哲彌

吾々は勿論、児童の想像と現實とを、何時までも混同させておく譯には行かない。だが吾々は此の時期に於ては辛棒強く児童の思想の或るものは、外界の手に觸れることの出来るものと合致するが、或るものは唯だ彼れの心の中に存在するだけだといふことを辛棒強く教へて、漸次此の區別を分らせるやうにせねばならぬ。吾々は彼れの眞似ことの御相手をしながら徐々に此の種類の經驗の相違を現解するやうに導かねばならぬ。

兒童は屢々自分の行為に對して言譯や自己辨護を考へ出すし、又どうしても全然辛直と認められないやうな理由づけをしやうとするものである。事實上於て、兒童が自分の願望を遂げんと熱意の餘り、數へ擧げる理由が多ければ多いほど眞の理由は控へられるのである。

九歳の男の子が、足を控いて自宅に引き籠つてゐる同級生の女の子に、本を一冊御見舞に持つて行くやうにと先生から云ひつかつた

と、その親に語つた。多分先生は出来るならやつたがよいといふやうな示唆を與へたに過ぎないのであつて其の男の子の同級生の女の子に本を遣り度いと熱心と、多分母親が承知すまいとの怖れから出たものに相違ないこと、即ち彼れの願望が彼れの記述を支配したのだといふことを此の男の子に納得させることは、蓋し比較的容易な業である

- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【朝】味を汁一豆もやし
 小付 やきのり

【晝】深川煮(蛤と葱味を煮)
 煮物 やき豆腐 里芋

吾々は全ての時期に亘つて、そして毎日に自らを欺くことなからん爲には、自分自身の種々雑多の動機に就て、出来るだけ嚴密に検討する必要があるといふことを教へ込まねばならぬ

今一つの問題となるのは成人の眼からは不正直と見做されるやうな言葉や行爲によつて、兒童が其望みのものを得る術を學ぶといふ事である。寢床にねせつけ



君とともに

飯村 閑舟

君に呼びかけ肩寄せて互に歩いた かの丘にそろそろ芽を吹く若草よ今も燃ゆるか
 燃ゆるか血潮

君が来ぬとて嘆く夜は噂にのぼる姿さへ花にかくした銀の月誰に恥づるか
 恥づるか月よ

1936
御入學・御進學
 美事な ファイン・ブレイ
 をなされ 御愛児様へ!!
 小店にては聊か右御祝と日頃の御愛顧に酬ゆる爲左記の通り奉仕特賣致します。記念として何卒御用命の程伏して御願ひ申上ます。
 旅行と實用とを兼ねた
責任保證附 腕時計
 定価 金七圓五錢ヨリ
 (ゴム又は皮バンド附)
 万年筆 定価 八十錢 ヨリ
 ビクター・コロネビア
 ホリドリール
特約店 金光堂時計店
 平町五丁目

おでんと
 やきとりで
 お氣輕に
 一平
 一平
 出前迅速
 谷口通り
 電話二六三番

毎度特に御引立に預りまして厚く御禮申上げます。寒かつた冬も何時の間にか過ぎ去りまして楽しい春が訪れて参りましたも二旬の後に追つて來ましたすし折詰や魚折詰の品物が段々入荷致しました。何卒お花見には多少共御下命の程伏してお願ひ致します。
 乍末筆來る春と共に皆様の御健康と御繁榮をお祈り致します。

平二警察署裏通り
魚清食堂
 電話六三三

擴張御披露
 私事永らくの間東京精養軒及丸ノ内會館に於て各國の高級料理と眞の支那料理の研究を遂げ、此程歸平しまして、デザート式食堂を開く事になりました何卒御引立の程御願ひ致します
 金子松 男

非常時日本の更正に皆様の御健康を護る最も進歩せる洋食と支那料理
 三大モットー！
 味良く(自信の出来る研究の結果を)
 量多く(自ら庖丁を手にして他人に委せは)
 衛生上(加熱消毒を致し注意し一々)
 田町銀座街より一步御入りになれば、感じよい設備で御家庭を延長した御氣分が味はれ釋にも近く御便宜で御座います
 ◎材料は日々京濱地方より新品到着致します

出前迅速
 平町田町
福壽軒
 電話二一八番

外科 一般
 内臓 外科
 花柳 病科
 肛門 病科
 レントゲン科
 物理療法科
 北川 外科
 平町新川町二七
 醫學博士 北川芳夫
 醫學士 奥義弘

流線型機關車

平驛に蔦進

八日に試運轉

同時に貨物用準流線型も

既報待望のC五五型流線型機關車が常磐線にも瀟洒な姿現すことになったが愈々来る八日から仙臺平區間で試運轉を行ふことになつた。なほ貨物用の準流線型D五一型も同時にデビューを遂行すると

罐詰機械

分場に設備

神谷村石城農事試験分場では罐詰製造試験機KHホームシーム機を購入設備して各種の試験を行つたがこれは縣が縣下の各種加工業の助成を行ふ目的のため右に依つて縣産罐詰類の聲價向上に努める爲めである

萩厚氏が會長に

平町南川萩原義雄氏は縣齒

四月の月曆

世を擧げて

明朗活潑に

永い冬期の沈黙から躍進へのスタート!

永い冬ごもりの忍従生活から山野の草木は一齊に新生の喜びを讃歌する此の頃人々も極寒から解放された喜悅に重い厚着から軽快な春着に衣替りする時季で

四月、春の訪れは人々の氣持にも更生の新鮮な息吹を吹き込み人々は頓に忙しく、農家は軒さきに歌ふ鶯の聲にさそはれて耕作の

之次氏は卅一日附の異動で鹿島出張所主任に轉任後任として鹿島出張所主任齋藤弘治氏が着任する

土木委員協議

土木委員協議 平町土木委員会は四日午後一時から町會議室に開會左記案に就き協議すると

穀物検査所平支所長松本已

穀物検査所平支所長松本已

一町三ヶ村の

水害が免る

藤原護岸工事完成

沿岸民大喜

藤原川の兩岸護岸工事上下流延長(一里半)は昭和七年總工費四十五萬圓で着工以來大體の完成を見十年度内残工事の上流磐崎村大字白鳥地内を工事中だつたがこの程全部完了小名濱町に置いた事務所を引拂つた向此の工事の完成に依り小名濱玉川泉磐崎の各町村は水害の厄をまぬがれることになつた譯で今後の利益が多いため附近民から喜ばれて

漁業協同組合 植田

町漁業組合(七日)大浦村仁井田漁業組合(八日)では各々改正漁組法の實施による漁業協同組合の組織變更指導會を縣より商工水産課清

別れを惜まる

平の諸先生

昨卅一日附發表された小學校教員異動中永らく平町各小學校に在勤し平教育界に多大の功績を残して別れを惜しまれて居る諸氏の略歴左の如くである

鈴木康氏(勿來第二校長)

明治廿九年平町に生れ大正九年本科正教員の檢定を受け赤井、勿來、湯本玉川各校訓導を経て平第一校に就任以來在勤十五年、平町少年赤十字幹事平の教育編輯係、平町青年團常任幹事として貢献今回勿來校長への榮轉は郡下での出世頭と噂されて居る

蛭田イサ氏(退職)大正五

岡に舉行され、相次いで盛んなお花見の宴が盛大に催される等世を擧げての明朗活潑な月である。それにこの月は本年の未曾有の降雪被害を受けて不振に沈んでゐた事業界に活潑な動きが見られる譯で一帶に永い冬期の沈黙から躍進へのスタートとなる時季である。

瀧技師を招いて開くと

小名濱の電話

濱郵便局電話架設申込期日は四月一日から十五日迄で架設費百二十圓加入登記料金五圓である

平の諸先生

年福島女子師範卒業後二十年の永きに亘り平第二校に勤務し郡女教員會長女子青年團、女子同窓會平婦人會の各常任幹事、國防婦人會理事、献身的努力を注ぎ別れを惜しまれてゐる

海老原英氏(退職)大正三

年茨城師範卒、茨城縣猿島郡幸島校、取手校訓導を経て平第二校に移り爾後十七年同校に勤務し郡女教員會第三分部會長、女子青年團常任幹事等に勤めてその力を一般から認識されて居る

シネマ週報

平館 澤村國太郎●川京子主演「天明からくり双紙」中村英雄丸山静子主演「少年靴屋」片岡千恵藏水の江澄子主演「渡鳥木會土産」

世界館 栗島すみ子川崎弘子主演「噂の女」片岡千恵藏主演「劍風一騎」林長二郎 志賀清郎主演 飛脚

平業紹介所報告

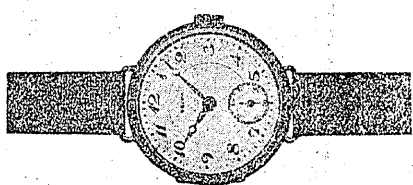
- △外交員 四十才位 個定 給卅五圓
- △回職を求める方
- △醬油醸造 卅一才 尋卒
- △女工 廿二才 尋卒
- △採炭夫 卅八才 高卒
- △土工夫 廿三才 高卒
- △コック 卅才 高卒
- △電話交換婦 廿才 高卒
- △事務員 廿一才 中卒
- △火夫見習 十九才 高卒
- △事務員 卅二才 農藝校卒
- △會社事務員 二十一才
- △人々を求める方
- △コック 廿五才迄 月給十圓 尋卒
- △配達兼農夫 廿才前後 月給五圓
- △トラック助手 廿五才迄 日給六七十錢 尋卒
- △助手 十八才迄 月給五圓
- △炊事婦 五十才迄
- △炊事夫 卅才位 月給五圓
- △新聞配達 卅五才 月給十圓

嬉ばしき御卒業と 上級學校御入學の 御祝は是非!

最も正確な常盤屋の時計を 四月一日—十五日迄 お買の上の時計にお祝として保険は 高級十四金ペン付

ロンドン万年筆送呈

クロウ側 精工舎 10形腕時計 7・50ヨ
クロウ側 セイコー 女學生用腕時計 8・00ヨ



常盤屋時計店 平町一丁目 電三三九

小店員募集

●頭と身體の働く人

西村屋藥局

平二 電三

婚禮の前夜に

藝妓と逃る

悶々の日を送つて居たが
遂に意を決して此の仕末
四倉に潜伏?

江名町大字中之作字新町船
主吉田政太郎(三)は最近兩
親から嫁を貰ふことを勧め
られたが同人には昨年来馴
染を重ねた夫婦約束までし
た同町大字江名字北町山口
屋こと志賀チヨノ方藝妓榮
こと福岡縣生れの山本敏子
(三)があるため悶々の日を送
つてゐたが愈々婚禮を明
日に控えた卅一日夜山口屋
から榮を呼び出し相談の末
同夜十一時頃手に手を取つ
て行方を晦ましたので大騒
ぎとなり平署に届け出た

が四倉町方面に潜伏してゐ
るらしいと早速手配した
警中出身の
帝大合格者

東京帝國大學入學試験合格
者は此程發表されたが警中
關係入學者は左の五君であ
る
◇應用化學科 野崎弘
(一高) ◇電氣工學科
岡田正敏(二高) ◇醫學
部 梶原彊(二高) ◇法
科 長瀬順平(水高) 三
瓶武右衛門(水高)

櫻に魁けて

忠魂祭舉行

併せて武道大會

町村長石城支會並に帝國在
郷軍人會石城聯合分會では
来る十日午前九時卅分から
平町松ヶ岡公園に於て本都
出身戦歿者の忠魂を弔はん
ため忠魂祭を執行すること
になつた尙當日は恒例の在
郷軍人の銃劍術大會も併せ

病者家出

自殺の惶に

植田町望月時喜方水戸市希

明日のラジオ

今晚は南の風晴
薄く
明は南の風薄
曇り

今晚の部
後六、〇〇 子供の時間
お話「春の物語」野間守
人
後六、二五 農家の時間
「これからの有利な副業
五十子巻」
後七、三〇 講演「日本醫
學に於けるベルツ博士の
功績」入澤達吉
後八、〇〇 あしべ踊り
南地藝妓連(南地五花街
演舞場より)
後八、四〇 チェロ獨奏
コンスタンチン・シヤビ
ロ
後八、五五 浪花節「吉原
百人斬り」壽々木米春

町一三〇〇佐藤ハル二男淺
二郎(三)は去月六日以来同
家で病氣療養中の處卅日家
人に無断で家出行方を晦ま
し平方面潜伏の形跡あり同

けふから警官の

スタイルが一新

既報平署は
本四月一日
から一齊に
服装を一新、スマートなスタイルに變つたが現在まで
巡查の赤の肩章が銀白の瀟洒な肩章に變つた外佩剣も
金メッキの輝かしいものとなり町民を驚かした

義兄を

盗伐で訴ふ

内郷村大字宮農草野國太郎
の娘くら(三)たけ(三)の兩
は姉せんの夫草野金四郎(三)
を相手に卅一日平署へ森
林盗伐の告訴を提起したが
理由はくら、たけの兩名は
亡父國太郎から山林各四反
歩を贈られ登記も完了して
ゐるのに姉婿の金四郎が女
と見くびり松立木百六十五
圓分を盗伐したと云ふので
關係者を取調べ中

大喜びの

新入兒達

けふ始業式に

平町各小學校の可愛い新入
生は喜びに勇み立つて午前
九時半までには全部登校赤
白黄の組分けも賑やかに新
生活の第一歩を踏み出した
が今年の入學兒童は平第一
校三學級百九十二名同第二
校三學級百九十四名同第三
校四學級二百十六名合計六
百二名で午前十時からの入

明日の部

後九、三〇 時報
明日の話題 番柳
告
前七、〇〇 朝の修養「神
皇正統記」平泉澄
前九、〇〇 衛生メモ
前九、五〇 全國中等野球
大會(甲子園球場より)
前一〇、三〇 家庭講座
「お花見と公衆道徳」石井
滿
後一〇、〇五 横笛とマンド
リン 藤木重政 マンド
リナータ・デイ・ヒロサキ

平署長の歡送 平町
有志相寄り来る四日午後五
時から谷口樓で平署新舊驛
長歡送迎會を開催する

刺傷犯人送局

既報
昭和入組會社工場の火事騒
ぎ中海軍ナイフで女房の情
夫を突刺し瀕死の重傷を負
はせて植田署に自首した錦
村字江栗居住鐵筋工今野安
藏(三)は植田署で取調べの
結果殺人未遂にして卅一日
送局された

平裁判たより

△石城郡湯本町大字湯本字
三國二八六寫眞業古山丈彦
(三)は去る一月十七日午後
四時頃無免許で小型自動車
を運轉し操縦を誤り同町佐
藤トラに追突し全治三十日
の挫創傷を負はし自動車業
取締令違反三略式罰金五十
圓
△石城郡内郷村中町一三自
動車運轉手高橋政始(三)は

昨年十二月十九日午前九時
半頃箕輪村より平町に向つ
て疾走中狹隘な内郷村字金
坂四五番地々先で注視を怠
り同村下遠野キクエを跳ね
飛ばし全治二ヶ月の重傷を
與へ業務上過失傷害罪で略
式罰金六十圓

△石城郡内郷村宮字峰根六
五杉炭夫佐藤幸一(三)は去
る一月四日正當の理由なく
刀渡り五寸餘の匕首を携帶
し同村地内を徘徊し午後七
時頃同村乙女食堂で居合せ
印刷の御用命は：
常警毎日印刷株式
會社

た廣川某と喧嘩し右兇器で
相手の腹部を刺し全治二週
間の刺傷を負はせ傷害並び
に銃砲火藥類取締令違反で
略式罰金四十圓
△石城郡川前村大字下桶賣
字萩一農馬場邦貞(三)は去
る十五日無免許で川内村山
林内で村田銃を使用し兇二
頭を捕獲し狩獵法違反で略
式罰金二十圓

△石城郡小名濱町大字本町
字蛭川南五八鮮魚商和田正
義(三)は去る一月廿一日午

後二時頃自家用トラックを
運轉西郷村小田倉國道で同
村松山リッパに衝突加療三ヶ
月の骨折を與へ略式罰金三
十圓
△石城郡勿來町大字窪田字
白山番地不詳芳智義明氏方
字佐美武(三)は去る十日同
村大高地内で列拔銃身の空
氣銃で雀五羽を捕獲し狩獵
法違反で略式罰金十圓に處
された

△双葉郡久之濱町大字久之
濱町字南町三三新妻廣三
郎氏(三)新川町三ノ一
和賀キタさん(二三)

△秋田縣北秋田郡阿合町
銀山字新町八三當時白銀
町四二石岡幸太氏(二九)
信夫郡野田村大字下野寺
字街道北二六浦澤恒枝さ
ん(二八)

△道匠小路二三當時兵庫縣
赤穂郡那波町陸一〇七九
馬目甚氏(三七)



繞る瓦解の設々々

(讀上級上) 悟道軒圓玉(作) 丸尾至陽(書)

八六 近頃の大仕事

こゝは根岸の青木彌太郎の隠家

彌「お、お花か何うした」
花「旦那は何うしてこゝへ歸つて来たの」

彌「大岡源右衛門の部下に取りまかれてすんでに繩にかゝるところをのがれ、あれから見付まで行き柳原の土手から和泉橋を渡り藤堂の屋敷前から駕籠歸つて来た、お、松も一緒か」

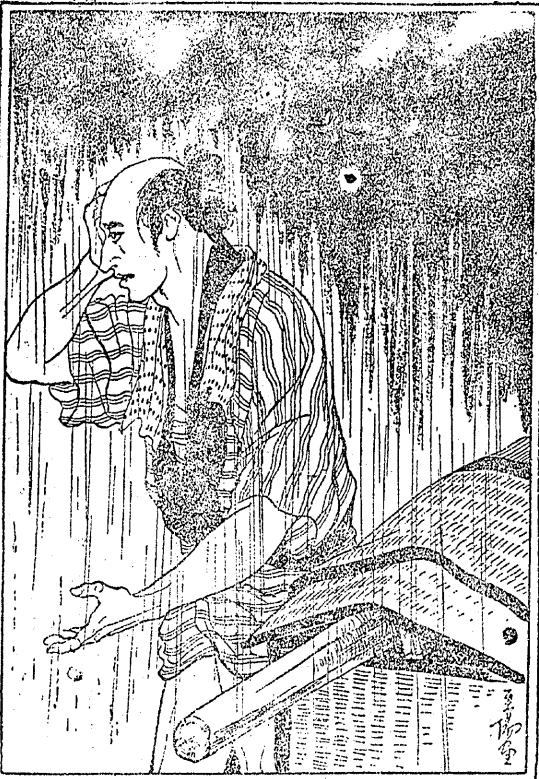
松「今日は三河島の茂兵衛のところへ頼んで置いた鐵砲の催促に行きまして、天王寺まで来るとお花さんが大芝居を見せましてね」

彌「何ぞ出来たか、ウーム新堀で乗つた駕が天王寺へ擔ぎ入れてその金を取らうとしたと、そいつはあぶなかつたな」

花「ヒューケンさんから貰ひましたピストルとかいふ鐵砲でかごやをおどし付けてやりましたよ」

彌「そんな物をふところへ忍ばしてゐたか、そいつは俺も気がつかぬかつた」

花「かごかきはふるえてしまつてそこへ松さんが来ましたから、サアお姫様は氣が強くならさんぞんか」



といつた時にお花は文庫にあつた金を掴んで上り口まで立つて来て

花「若い衆さんこつちへお入り」

文「へエ、御免なさいませ結構なお住居でございますね」

花「こゝはわたし達のとき木なんだがね、誰にも云はないやうにしておくれ、サアこれで一口飲んでお歸

居ります 堤にすんでゐるといつたところではつたやこぼろぎの生霊でございますん、これでも先祖から人間でございますが何うせ善い方のお役には立ちますまい、然し悪い方ならば何うやらお役に立つこともございませう、何ぞこの御主人へも御話し下さいませ、なア文太郎悪黨でなければ奇麗な銭はつへねえ、こ

のねえさんを女にしておくは惜いな、男ならば大したもんだぜことに依ると天下も取るだらう、それを聞いてお花はにつこり笑ひ

花「お前がたは世辭がいいね、ちよつとお待ち今もいつた通り今夜のことは内密にしておくれ、お役人の耳に入るとお前がたも困るから」

文「へエ大丈夫でございます、それでねえさんまたお目にかゝりませう」

と二人は多分の酒代をもらひそれを敷へながらかごをかついで戻つて行く、こ

つちは青木彌太郎、自分の持つぬた金とお花がこれへ持つて来た金をせらべると約千二百兩ある

彌「近頃はない大仕事だ、ナア松やこれだけあれば武器を調へまた同志の者の手あてにも差支ることあるまい」

松「時に旦那、こゝ十日ばかり経つと茂兵衛のところから百疋だけ鐵砲をこちへ持ち込みます」

彌「さうか、そいつは横濱におくり居留地にゐる外國人に玉を浴びせて日本人の意氣をしめしてくる、まづ目出度い」

文太郎といふかごかきの手の上に金を乗せたそれが土間へバラバラとこぼれた

文「有難うござます、こんなに頂いてはすみません、オイ相棒、ねえさんのすることは行き届いてゐる、さん／＼二人の膽を冷やして置いていよ、降参したと

なるとおはれを垂れ給ふこれは出来ねえことだな、見ろよこんにくださつた」

○「有難い／＼もしねえさんこの後御用がございましてらば御沙汰を願ひます、わつち共は年中吉原の堤に

のねえさんを女にしておくは惜いな、男ならば大したもんだぜことに依ると天下も取るだらう、それを聞いてお花はにつこり笑ひ

花「お前がたは世辭がいいね、ちよつとお待ち今もいつた通り今夜のことは内密にしておくれ、お役人の耳に入るとお前がたも困るから」

文「へエ大丈夫でございます、それでねえさんまたお目にかゝりませう」

と二人は多分の酒代をもらひそれを敷へながらかごをかついで戻つて行く、こ

つちは青木彌太郎、自分の持つぬた金とお花がこれへ持つて来た金をせらべると約千二百兩ある

彌「近頃はない大仕事だ、ナア松やこれだけあれば武器を調へまた同志の者の手あてにも差支ることあるまい」

松「時に旦那、こゝ十日ばかり経つと茂兵衛のところから百疋だけ鐵砲をこちへ持ち込みます」

彌「さうか、そいつは横濱におくり居留地にゐる外國人に玉を浴びせて日本人の意氣をしめしてくる、まづ目出度い」

とこゝで酒になつた

廣

告

小瀧へ!!

◆宿泊料 1.50 2.00 2.50 (御滞在左記料金にて中食料をふくませます)

◆日歸浴席料 .20

◆自炊料 .50-.80 (入場料・室料・夜具料一切)

◆料理一定食 .80 1.00 1.50 (その他一品料理洋食)

◆湯 効 神経痛、リウマチス、胃腸病、痔疾、婦人病、逆上、中風、肥胖病 (内務省東京衛生試験所認定済)

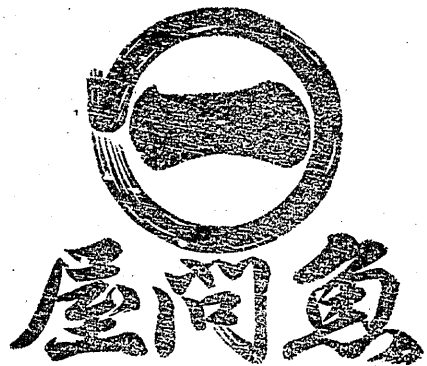
◆諸設 備 撞球臺、高級ラヂオ、大廣間、讀書室、近代式浴場と洗面所、水洗式便所、小動物園、タクシー、御子様運動器具

◆名物 川魚料理(うなぎ、鯉)蜂蜜羊かん

●女中數名入用●

常磐線湯本驛 小瀧鑛泉
御旅館 瀧の湯
御自炊
電話 (小名濱) 103番

干やなぎ 味美 鯉鹽から 當店特製 鯉節



商榮盛賀志 (番三一二話電) 目丁四町平

新學期 通學服

新學期が近づきました。可愛らしい坊ちゃん 嬢ちゃんの通學服を豊富に取揃へて特價奉仕

- ・ 黒 小 倉 1.20ヨ
- ・ " (特製) 2.30ヨ
- ・ 紺 金 釦 服 3.60ヨ
- ・ 紺 K O 型 4.00ヨ
- ・ 第二・第三・制服 3.60ヨ
- ・ 紺 セーラー 2.60ヨ
- ・ 防水 マント 1.20ヨ
- ・ " (裕) 1.65ヨ

平三 ぶかや洋服店 番203